

防災講話「3.11を忘れない」3/11 副校長

今日、3月11日は、どんな日か、知っていますね。

平成23年3月11日14時46分、東日本大震災があった日です。今から13年前、ほとんどのみなさんが、まだ生まれる前のことです。

マグニチュード9.0、震度7のとても大きな地震でした。東京でも場所によっては震度5弱でした。

この地震で、大きな津波が押し寄せたこと、その後、原子力発電所で大きな事故が起きたことなど、とてもとてもおおきな災害となりました。

13年経った今でも、災害の爪痕が残ります。地元を離れて過ごしている方がいるなど、地震の影響は大きく、復興まではまだまだ時間がかかることと思います。

今年1月1日には、能登半島沖地震があったばかりです。

自然災害はいつ起きるかわかりません。昭島市では、津波などは起こりえませんが、大きな地震があったとき、自分の命をどのように守るのか、お家の人とどのような約束事を決めているのか、今一度考える機会にしてほしいと思います。

また、学校図書館には、防災関係の本や、東日本大震災に関連した書籍を集めたコーナーも用意してあるので、参考にしてほしいです。

自分の命は、自分で守れるようにします。